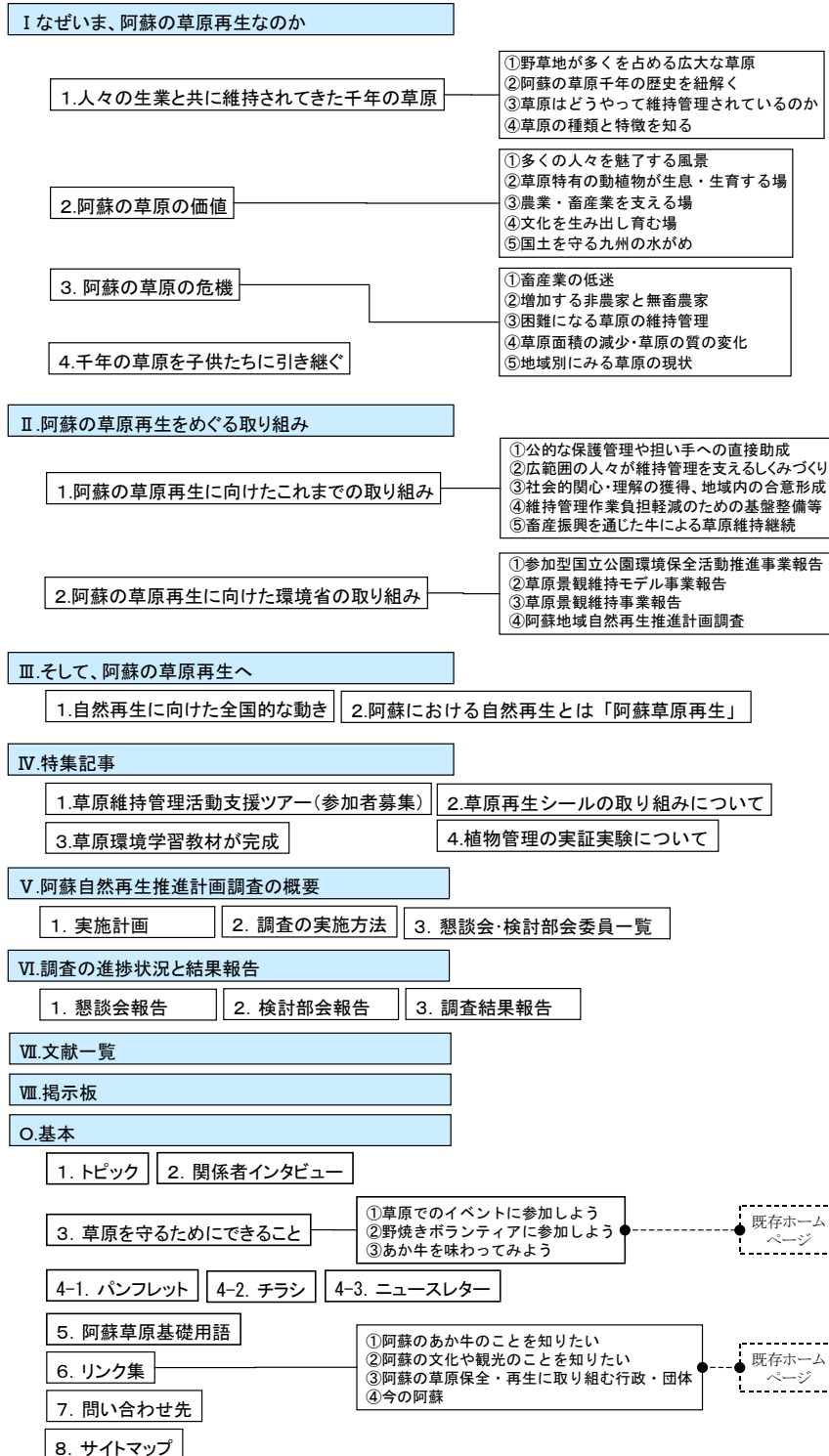


V. インターネット・紙媒体による情報の発信と共有

1. 草原再生ホームページの更新

ホームページの構成は、以下のとおり。

図V-1 草原再生ホームページの構成



(1) 情報の更新

図V-2 画面イメージと更新項目

 …更新した項目

The screenshot shows the homepage of the 'Asahi Grassland Regeneration' website. The main header features a green landscape with mountains and the title '阿蘇草原再生 ~子供たちへ引き継ぐ千年の草原~'. Below the header is a navigation menu with items like '文庫一覧', 'パンフレット', 'ニュースレター', 'チラシ', '掲示板', '草原基礎用語', and 'リンク集'. The main content area includes a '新着情報' (Latest News) section with dates and event titles, a 'トピック' (Topics) section with a photo of a group of people, and an '関係者インタビュー' (Interview with Stakeholders) section featuring a photo of a woman. There are also several callout boxes with red borders and circled numbers (1-8) pointing to specific content. At the bottom, there is a 'お問い合わせ' (Contact Us) section and a footer with copyright information and contact details for the Kyushu Region Natural Environment Service.

更新項目 (Updated Items):

- ⑤ 文庫一覧
- ⑥ パンフレット
- ⑧ ニュースレター
- ④ トピック
- ③ 関係者インタビュー
- ① 草原再生シールの試行スタート!
- ② 草原を守るためにあなたができること
- ⑦ 草原でのイベントに参加しよう。
- ④ 調査の進捗と結果報告

① 草原維持管理作業支援

② ツアーのお知らせ・参加者募集

2004年10月に実施した草原維持管理作業支援ツアーの参加者募集に際し、取り組みの趣旨や受入れ牧野の紹介を行うと同時に参加募集を行った。（資料編2参照）

9月～ツアー終了時まで掲載。

③ 草原再生シールの取り組み紹介・生産農家の情報公開

草原再生シール協力店・商品づくりにあたっては、取り組みの趣旨を紹介するとともに、協力農家や直売店の情報を公開した（本編第V章、資料5-(1)(2)参照）。また、購入者アンケートの結果、座談会や設立準備会の開催等試行後の展開等、関連情報を随時更新している。

10月～施行期間終了後も継続して掲載。

④ 関係者インタビューの掲載（日付は掲載年月日）

- ・村上ミツ子氏（阿蘇町農産物加工部会会長） 2004. 4. 15
- ・上島敬次氏（阿蘇地区国立公園パークボランティアの会会長） 2004. 8. 26
- ・草尾直美氏（狩尾牧場で牛の飼育・管理を行う専従従業員） 2004. 9. 24
- ・野上寛史氏（農業、湯浦牧野組合組合員） 2004. 11. 25
- ・吉田愛梨氏（農業、NPO九州バイオマスフォーラム理事長） 2005. 2. 14

⑤ 会議、イベント、実証試験等の開催案内、開催報告、トピックの更新

以下の項目を更新した。（※は、トピックに掲載したもの）

- | | | |
|-----|--------|------------------------------|
| H16 | 3月18日 | 第4回「草原再生懇談会」の開催結果 |
| | 3月14日 | 第4回「情報発信・合意形成の検討部会」の開催結果 |
| | 3月11日 | 第5回WA、第4回WB合同部会の開催結果 |
| | 2月12日 | 阿蘇草原再生シンポジウムの開催結果 |
| | 2月4日 | 牧野組合意見交換会の開催結果（※） |
| | 1月21日 | 阿蘇草原再生シンポジウム開催のお知らせ（※） |
| H15 | 12月22日 | 阿蘇フォーラムまるごとフェスタ参加報告 |
| | 12月22日 | 「草原管理の支援モデルツアー」の開催結果（※） |
| | 12月20日 | 第3回「情報発信・合意形成の検討部会」の開催結果 |
| | 12月16日 | 第4回「草原管理手法に関する検討部会」の開催結果 |
| | 12月7日 | 第3回「草原維持活動支援システムの検討部会」の開催結果 |
| | 10月28日 | 第4回阿蘇フォーラム まるごとフェスタ開催告知 |
| | 10月20日 | ボランティアによる野草地での採草の実証試験の報告 |
| | 10月19日 | 草原維持管理実証試験の実施報告 |
| | 9月21日 | 草原景観の詳細把握調査の実施報告 |
| | 9月10日 | 草原管理手法の実証試験開始のお知らせ |
| | 9月6日 | 牧野組合調査の結果報告 |
| | 8月26日 | 第3回「阿蘇草原再生懇談会」の開催結果（※） |
| | 4月21日 | 「草原維持管理省力化の取り組みが植生に及ぼす効果」を掲載 |

4月6日 阿蘇の草原維持支援活動の実証試験実施報告

⑥ 阿蘇の草原に関する環境省発行の報告書のPDFによる掲載

「平成10年度 参加型国立公園環境保全活動推進事業報告書」「平成13年度 国立公園内草原景観維持モデル事業報告書」の全文をホームページ上で閲覧できるよう、PDFに変換し掲載した。

⑦ ニュースレター、環境学習教材等印刷物の掲載

ニュースレターNO.3～NO.6及び環境学習用教材（カレンダー、ハンドブック、パンフレット）をいずれもPDFで閲覧できるよう掲載した。

⑧ あか牛オーナー制度、パークボランティア主催の観察会等地元の取り組みを紹介

- ・ 「阿蘇の草原であなたのあか牛を育ててみませんか」をキャッチフレーズに、阿蘇グリーンストックが行っている「あか牛オーナー制度」を紹介するとともに、あか牛肉を購入できるお店5店舗を紹介

- ・ イベントの告知

8月17日～31日 阿蘇の自然案内人のガイドによる草原トレッキング
（財団法人阿蘇地域振興デザインセンター内 阿蘇自然案内人協会）

8月22日 阿蘇地区国立公園パークボランティアの会による自然観察会
（阿蘇地区パークボランティアの会事務局（自然公園財団阿蘇支部内））

4月28日 「阿蘇の自然に親しむ集い」
（環境省自然環境局九州地区自然保護事務所）

4月28日 自然案内人が誘う「阿蘇カルデラツーリズム」
（財団法人阿蘇地域振興デザインセンター）

- ・ 平成16年度野焼き支援ボランティア初心者研修のお知らせ（財団法人阿蘇グリーンストック）

⑨ 掲示板の運営

地元で開催されるイベント情報の掲載のほか、ニュースレター等を読んだ感想や以下のような草原に関する質問が寄せられた。

掲示板に書き込みのあった質問と返答（抜粋）

○火入れと地球環境

質問：草原の火入れは大気中のCO2収支から見ると、火入れでの炭が地中に溜まっていったら、温暖化に貢献しているのでは？

回答：科学的なデータがあるわけではありませんが、野焼きによって地中に炭素が貯まることは、考えにくそうです。野焼きによってできた灰は、分解されて二酸化炭素になり、草原に貯まった二酸化炭素は、1年間かけて、野焼きの時に、大気中に戻っていきます。また、阿蘇の草原は、阿蘇の牛の飼料として利用されており、その飼料の多くは海外から輸入されているため、輸送のために重油が消費されることを考えれば、阿蘇の草を阿蘇で使うことが温暖化防止のために一役かっているといえます。

○阿蘇は九州の水がめ について

質問：草原の放置が遷移により森林になってしまうのを防ぐために、いろいろな営みにより防がれてきた阿蘇ですが、水源涵養地として考えるならば、草原と森林ではどちらがより水がめの役割をするのでしょうか？

回答：森林や草地の保水力は、もともとの土壌や地形や管理の度合いによる土質等の違いがあるため、単純に比較することは難しいといえます。

土壌の保水力を調べたあるデータでは、一般には森林の保水力は草地の保水力の2倍近くあり、森林の涵養機能が高いとわかります。しかし一方で、手入れがされていない森林の保水力は草原の保水力の4分の1程度とのデータもあり、一概にどちらの涵養機能が高いとはいえません。

なお、地元の人たちからは、「手入れの行き届いた草原では大雨の際でも崩れることはほとんど無いが、手入れが放棄されて藪化しつつある草原や、植林地では土砂崩壊が度々発生している。」という話も聞いています。

○放牧している土地は誰のもの？

質問：阿蘇では誰の土地を借りて放牧をしているのですか？

回答：基本的には、阿蘇の草原は市町村の保有する公有地となっています。そこに入会権をもつ人々が、牛馬を放牧したり採草をしたりして草原を利用するとともに、野焼きなどの維持管理を行っています。中には個人に払い下げられた土地や、地区の共有地などもあり、土地所有の形態は様々です。

(2) ホームページの閲覧件数増加のための取り組み

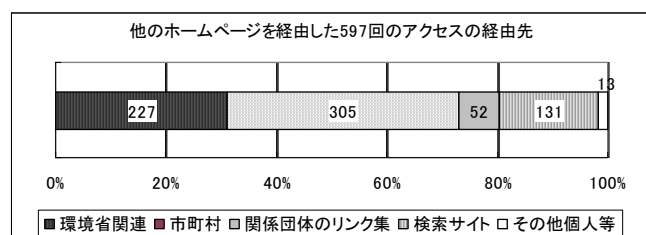
HPをより多くの人に見てもらえるよう、頻繁にコンテンツを更新したり、地元自治体や関係団体のホームページからリンクしてもらったり、WEB検索で上位にランクされるよう登録キーワードの設定を変更したりするとともに、ホームページアドレスを目にてもらえるよう、ニュースレター、草原再生シール、シンポジウムのチラシ等印刷物へのホームページアドレスの記載を行った。

(3) ホームページアクセス状況

カウンターを設置した平成17年1月から3月までのアクセス数は、1月が994回、2月が最多の1,223回、3月が1,146回で、平均すると1週間当たり約260回のアクセスがあった。2月はシンポジウムが開催されたことでアクセス数が増加したと思われる。

※作業の更新にかかるアクセスはノーカウント。また、最初のアクセスから約10分以内に同一マシンからアクセスがあった場合には、そのアクセスをカウントしないものとした。

また、訪問ルート別に集計を行ったところ、市町村のリンク集などからのアクセスが305件(42%)と最も多く、次いで環境省関連のホームページからのアクセスが多く、地元関係団体のホームページを経由してのアクセ



スも 52 件あった。

(4) 今後の課題

今年度は、ホームページに掲載した「支援ツアー参加者募集」を見た出版社が取材に来るといった反響もあり、ホームページによる情報発信の効果もみられた一方、ツアー参加者が集まらなかったという事実や月々のアクセス数が阿蘇広域観光と地域づくり連絡協議会運営の阿蘇の観光情報サイトの3分の1程度であるという状況から、アクセス数の拡大が一番の課題といえる。現在、他のホームページを経由してのアクセスが全アクセス数の約半分を占める（平成17年3月）ことから、アクセス数の拡大にむけては、クリックしたくなるようなバナーのデザインを再考したり、リンクをはってもらう先を増やすことがまずは有効な方法と考えられる。

また、長期的には、地元畜産関係者や教育関係者に必要とされるデータを、わかりやすく使いやすいかたちに加工し掲載することで、地元利用者の拡大を図る。さらに、ホームページを継続させ、より地域に根付かせていくためには、地元関係者が中心となって企画・運営していくことも求められ、そのための体制づくりが必要になるといえる。

2. ニュースレターの作成・配布

昨年度に引き続き、調査の進捗や地元で行われている取り組み等を紹介するニュースレターを計4回、各5,000部を発行・配布した。掲載内容は、下表のとおり（資料5-7参照）。

主な配布先は、地元行政機関、牧野組合、地元観光・商工関係者、教育関係者、草原再生にかかわる団体、個人等で、毎回約2,700部（うち阿蘇市郡内に約2,300部）を直接配布。その他、シンポジウム等の会合や各種イベントで出席者に配布した。

表V-1 ニュースレターNO.3～NO.6の主な内容

	内 容
NO. 3 (7月発行) 表紙写真：ハナシノブ	<ul style="list-style-type: none"> ◇トップ 草原管理手法に関する実証試験が始まりました ◇特集 阿蘇の草原生態系を知ろう ◇阿蘇の風物詩 盆花とり ◇あなたも阿蘇草原再生に参加しませんか <ul style="list-style-type: none"> ・国立公園パークボランティアの会主催 自然観察会 ・阿蘇の自然案内人のガイドによる草原トレッキング
NO. 4 (10月発行) 表紙写真：オミナエシ	<ul style="list-style-type: none"> ◇トップ 第3回阿蘇草原再生懇談会開催 ◇特集 豊かな草原環境を守る採草の継続に向けて、さまざまな実証試験を行っています ◇阿蘇の風物詩 刈り干し切り ◇あなたも阿蘇草原再生に参加しませんか <ul style="list-style-type: none"> ・草原再生シールの取り組み
NO. 5 (1月発行) 表紙写真：草小積み	<ul style="list-style-type: none"> ◇トップ まるごとフェスタで阿蘇草原再生をアピール ◇特集 さまざまな参加により事業を展開 ◇阿蘇の風物詩 周年放牧 ◇あなたも阿蘇草原再生に参加しませんか <ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇草原再生シンポジウム開催のお知らせ ・グリーンストック初心者研修会のお知らせ
NO. 6 (3月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ◇トップ 調査の一環として実証試験地の野焼きを行いました ◇特集 阿蘇草原再生シンポジウム開催

表紙写真：ミチノク
フクジュソウ

◇阿蘇の風物詩 草原の芽吹き
◇あなたも阿蘇草原再生に参加しませんか
・阿蘇自然案内人によるエコツアー

3. チラシ「平成 15 年度牧野組合調査結果」の作成・配布

阿蘇の農畜産業の現状を牧野組合関係者をはじめ、広く一般の人にも知ってもらうため、平成 15 年度牧野組合調査の結果をグラフ等を中心にわかりやすくまとめたチラシ（A 4 カラー 4 ページ）を 5,000 部発行し、ニュースレター同様、草原にかかわる機関や団体、個人に直接配布するとともに、シンポジウム等の会合やイベント等の出席者に配布した。

○チラシの内容（資料 5-（8）参照）

- ・ 牧野組合のこの 5 年の変化
- ・ 牧野の維持管理継続意向
- ・ 畜産振興策へのニーズ
- ・ 輪地切り省力化技術への関心
- ・ 維持活動支援システムへの意向
- ・ 草の活用実態と今後の意向

4. パンフレット「阿蘇草原地域自然再生推進計画」

本調査の成果である阿蘇草原地域自然再生推進計画を、阿蘇市郡内はじめ広く一般の人にも知ってもらうため、計画の内容をわかりやすく示したパンフレット（A 4 カラー 16 ページ）を作成し、5,000 部発行した。